

## PDL04 Hinode/SOTによる黒点周辺に発生する小規模浮上領域の高分解能観測

大辻 賢一、柴田 一成、北井 礼三郎、永田 伸一、松本 琢磨、中村 太平 (京都大学)

ひのでの観測によって、黒点の半暗部の外側に多数の磁束管が浮上していることが観測された。我々はこれらの磁束管をひので搭載の可視光磁場望遠鏡 (Solar Optical Telescope : SOT) の Ca II H、G-band 及び Fe 6302Å で観測し、以下のような特徴を発見した。

1. 浮上の初期段階において、これらの浮上磁場は Ca II H 線では filament、G-band では dark granular lane として観測される。Ca filament の幅は約 2'' (~1500km) であり、dark granular lane (~700km) よりも太い。Ca filament が観測される時間は 20 分程度である。G-band dark granular lane 出現が Ca filament 形成より先に起こるかどうかは確認されなかった。
2. Ca filament の footpoint には Ca bright point が存在する。また G-band では同じ場所に G-band bright point が存在し、両者ともマグネトグラム画像での強磁場領域と一致した。最初、footpoint 間の距離は 2'' 程度で、4km/s の速度で増大するが、後にその速度は 1km/s 程度まで減少する。

本研究では、Ca filament が見えている高度についても議論する予定である。